

スチューデントコース

問題

特許検索競技大会 2018

試験時間	90分
------	-----

【 注意事項 】

1. 監督者の指示がある場合、その指示に従い試験を行ってください
2. この問題用紙は全 17 ページあるので確認してください
3. 試験中はインターネットによる無料検索サイトの利用が可能です
(Google、Yahoo! JAPAN、特許情報プラットフォーム (J-PlatPat) 等)
4. J-PlatPat の具体的な使い方については、J-PlatPat のパンフレットを参照してください。
(<https://www.inpit.go.jp/content/100868789.pdf>)
5. 最終頁に解答用紙がありますので、適宜ご使用ください。

氏名	
----	--

無断転載を禁じます

著作権は一般財団法人工業所有権協力センターに帰属します

令和 年 月 日

一般財団法人工業所有権協力センター

【問1】のねらい

J-PlatPat を利用した知財情報の検索を、まず商標の検索から始めてみる。
商標制度の基本について知り、J-PlatPat を利用した商標検索の基礎と応用を学ぶ。

【問1】

- (1) 「商標」は、企業、自治体等の団体や個人が、自己が生産、証明、譲渡する商品や、自己が提供、証明する役務（えきむ サービスのこと）を、他人が生産、提供等する商品・役務と区別するために、その商品・役務について使用するマーク（文字、図形、記号、立体的形状、音、等）である。

下記の【商標検索例】を参考に、J-PlatPat を利用して、「IPCC」の文字列が含まれる登録商標であって、商標権者（権利者）が「一般財団法人工業所有権協力センター」であるものを2つ検索し、各登録番号を7桁の数字で記入しなさい。

【商標検索例】

【J-PlatPat の URL】 <https://www.j-platpat.inpit.go.jp/>

【J-PlatPat の検索機能の選択画面】

The screenshot shows the J-PlatPat search interface. At the top, there is a navigation bar with the J-PlatPat logo and contact information. Below the navigation bar, there are four main tabs: 特許・実用新案, 意匠, 商標, and 審判. The 商標 tab is selected and highlighted with a red arrow. Below the tabs, there is a search bar with the text '例1)人工知能 例2)2019-00012X'. To the right of the search bar, there is a search button labeled '検索'. Below the search bar, there is a section for search results, which currently shows a notification about an update and a search button.

【検索の手順】

J-PlatPat のトップページから、商標検索機能を選ぶ（「商標」→「商標検索」）。

次に、「商標（マーク）」の「検索項目」欄で「商標（検索用）」を選び、「キーワード」欄に「IPCC」の文字を入力する。入力する文字は、全角／半角のいずれでもよい。

次に、「検索」をクリックすると、検索結果一覧が表示される。

表示された検索結果一覧にて更に、ヒットした番号をそれぞれクリックすると、各商標の詳細情報が表示される。

(2) 商標の種類には、「文字商標」、「図形商標」、「立体商標」、これらの「結合商標」等がある。

これとは別に、商標の機能や登録要件の違いでも区別されており、例えば、「地域団体商標」という商標がある。

「地域団体商標」とは、地域の名称と商品・役務の普通名称等との組み合わせを普通に用いられる方法で表示する文字のみからなる商標等であっても、使用の結果、一定の範囲で周知になることで、事業協同組合、農業協同組合等が商標登録を受けられる商標をいう。「地域団体商標」は、平成 18 年の制度創設以来、「地域の旗印」となるブランドを確立するための第一歩として、地域の産業発展に活用されてきた。

次の選択肢の中から、「地域団体商標」として現在登録されているものを 2 つ選び、解答しなさい。

なお、「地域団体商標」であるか否かは、J-PlatPat の「出願・登録情報」の「出願種別」欄に「地域団体」の記載があるか否かで判断できる。また、読み方がわかる商標では、「検索項目」欄で「称呼(単純文字列検索)」欄を選び、「キーワード」欄に読み方を全角カタカナで入力しても検索できる。

選択肢：

- a. 温州みかん
- b. 仙台みそ
- c. ニューージーランドキウイ
- d. 尾張七宝

(3) 次のア～エの各問について、J-PlatPat の商標検索を用いて答えよ。なお、商標出願番号、商標登録番号等がわかっている場合には、「商標番号照会」にて適宜「種別」を選び（例えば、出願番号の場合は「出願番号」を、登録番号の場合は「登録番号」を選ぶ。）、「番号」欄に様式例にならって各番号を入力すれば検索できる。

ア. 商標「センダスト」の出願日を調べ、西暦で記入しなさい。

イ. 商標登録第 5069078 号を調べ、次の選択肢の中から、正しい指定商品／指定役務を 1 つ選び、解答しなさい。

選択肢：

- a. 日本酒，洋酒，果実酒，中国酒，薬味酒
- b. 技芸・スポーツ又は知識の教授，セミナーの企画・運営又は開催，植物の供覧，動物の供覧，電子出版物の提供，図書及び記録の供覧，図書の貸与，博物館の展示，写真の展示，化石の展示，鉱石の展示
- c. 電子計算機用プログラム

ウ. 商標登録出願 2014-070247 号は、その審査過程において、出願人は審査官による拒絶理由を通知され、手続補正書を提出してこれに対応している。

この手続補正書の差出日を、J-PlatPat の「経過情報」(経過記録)を用いて調べ、西暦で記入しなさい。

エ. 商標権の存続期間は、登録日から 10 年間である。ただし、商標権は、10 年毎に何度でも更新

することができ、半永久的に存続させることができる。

商標「ロコモニ」について、更新がされていないとして、その存続期間の満了日を調べ、西暦で記入しなさい。

【問2】のねらい

- ① J-PlatPat を用いて特許文献を照会・検索する方法を理解する
- ② 公報の読み方の基本を理解する
- ③ 分類の使い方の基本を理解する

【J-PlatPat の URL】 <https://www.j-platpat.inpit.go.jp/>

【問2】

人型ロボットの研究を行っている学生の A さんが、足に車輪（回転手段）がついていて、道路の状態により歩行と車輪走行の切り替えが可能な二足歩行型のロボットを思いついた。

以前から自身のアイデアを特許出願してみたいと思っていた A さんは、卒業して企業の知的財産部で働く先輩 B さんに相談してみたところ、以下の返信を受け取ったので、その公報を確認してみることにした。

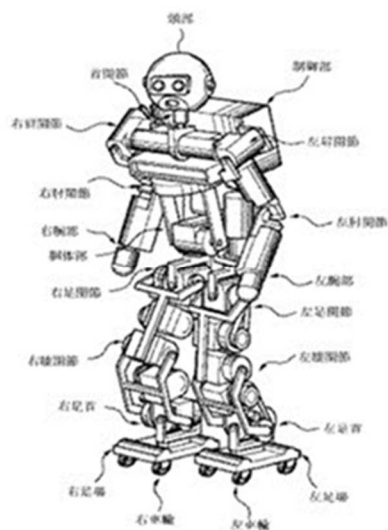
【B さんからの返信】

Aくんへ

ひさしぶり。君のアイデアだが、以下の図のようなものかな？
これは、ぼくがJ-PlatPatで見つけた特開2004-223712という公報に記載された図だ。たしか特許も成立していたと思うよ。

知っての通り、新しい技術でないと特許はとれないから、とにかく公報の内容を確認してみると良いよ。

Bより



- (1) J-PlatPat の「特許・実用新案」メニューの中の「特許・実用新案番号照会/OPD」を用いて、Bさんが教えてくれた公開公報にアクセスし、その公報の公開日を調べ、西暦で記入しなさい。
- (2) 次に、上記(1)でアクセスした公報の経過情報を調べ、同公報に対応する出願の経過としてわかることを、次の選択肢の中から2つ選び、解答しなさい。

※特許出願が審査請求されているか、権利化されているか等の経過情報は、公報表示画面の右端「経過情報」ボタンから確認できる。また、経過情報照会画面では、審査や登録の経過が「経過記録」で出願から登録されるまでの情報が「出願情報」で、登録以降の情報が「登録情報」で照会できる。

【J-PlatPat 公報表示画面】



選択肢：

- 審査請求せずに取下げ処分となっている。
- 審査の過程で拒絶理由が2回通知された。
- 審査の過程で拒絶査定となり特許成立に至っていない。
- 登録になった後に、現在は権利消滅している。
- 登録になった後に、現在も権利維持されている。

- (3) 予め配付されている特許公報 (PDF) の内容を読み、Aさんが思いついた技術が全て記載されている段落を、次の選択肢の中から1つ選び、解答しなさい。

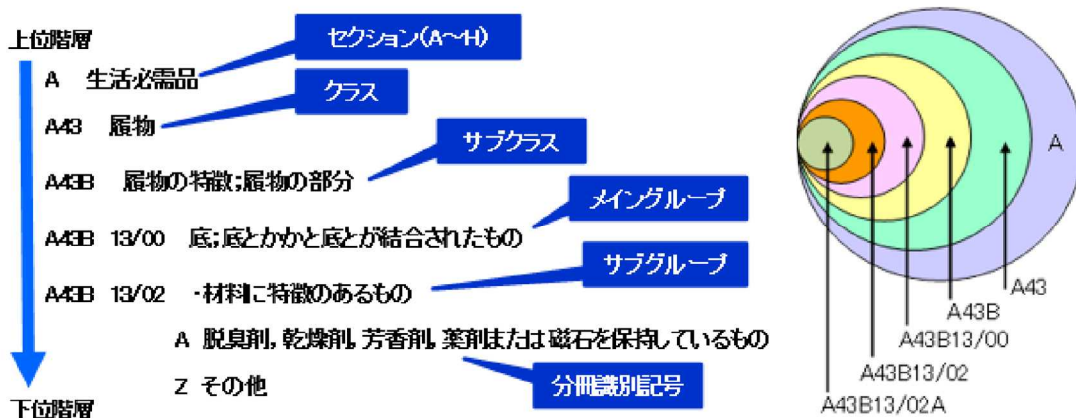
選択肢：

- 【0 0 0 2】
- 【0 0 2 2】
- 【0 0 2 3】
- 【0 0 3 3】
- 【0 0 4 2】

特許公報には特許分類が付与されています。特許文献の調査においては、適切な特許分類を用いることによって、調べたい技術分野に対応した関連性の高いヒット文献集合を得ることができます。特許分類には国際的に統一され、各国で共通して使われている IPC (国際特許分類)、日本の特許庁が独自に付与している FI (File Index) 等いくつかの種類がありますが、ここでは FI について学びましょう。

FI は、発明に関する全技術分野を A~H のセクションに分けています。そしてそれぞれのセクションは、広い技術概念から狭い技術概念へ、更に狭い技術概念へ、というように階層化されています。下図の A セクションの一例を見ると、下位の階層になるほど技術が細分化されているのが理解できると思います。

【A セクションの一例】



FIの詳細は、J-PlatPatの「特許・実用新案分類照会(PMGS)」の「コード照会*」を用いて調べられます。 (*) 検索対象：FI/ファセット

なお、コード照会欄への入力の際には、いくつかの入力ルールがあるので注意が必要です。

例えば、「B25J 5/00 A」を入力する場合、「B25J5/00@A」というように、半角の@を付ける必要があります。

- (4) J-PlaPat の「特許・実用新案分類照会 (PMGS)」の「コード照会」を用いて、同公報に付与されている下記4つの FI の内容を確認し、各 FI に対応する説明を次の選択肢の中から1つずつ (計4つ) 選び、解答しなさい。

FI :

1. B25J 5/00 A
2. B25J 5/00 B
3. B25J 5/00 E
4. B25J 5/00 F

選択肢 :

- a. 車または搬送体に設置されているマニプレータ (注1)
- b. 車または搬送体に設置されているマニプレータであって、移動型ロボットの制御に関するもの
- c. 車または搬送体に設置されているプログラム制御マニプレータ
- d. 車または搬送体に設置されているマニプレータであって、車輪をもつもの
- e. 車または搬送体に設置されているマニプレータであって、クローラ (注2) をもつもの
- f. 車または搬送体に設置されているマニプレータであって、二足歩行ロボットからなる歩行装置を持つもの
- g. 交互にまたは連続して持ち上げられる支持台と脚をもつ二足歩行ロボット

(注1) B25J の説明文より抜粋

<略>

このサブクラスにおいては、下記の用語は以下に示す意味で用いる :

“マニプレータ”は、空間内において有形の運動および方向の変更ができ、そのような運動および変更は、ヘッドから離れた手段によって随意に制御されるような把持部、またはワークヘッドを有するハンドリング器具、装置または機械を含む、例. プログラム制御の産業用ロボット

(注2)

無限軌道には、クローラー (Crawler)、トラックベルト (Trackbelt)、履帯 (りたい)、キャタピラー等、複数の呼び名がある。一般用途では、無限軌道と呼ばれる。

<中略>

一般によく用いられる「キャタピラー」は米国キャタピラー社 (Caterpillar Inc.) の登録商標である。



以上、Wikipedia「無限軌道」より

今の自分のアイデアは、確かに先輩が教えてくれた公報に記載されており、特許はとれそうにないとわかった A さんは、車輪やキャタピラを足場の下部に設けて歩行と車輪走行を切り替えるのではなく、いっそ、下肢部（人間でいえばひざ下）全体にクローラを装着し、車輪走行が必要な場合にはひざを折り曲げた体勢で走行することにより、平らではない道路や障害物のある道を安定して移動できるのではないかと考えた。そこで、新たに思いついたこの技術が記載された公報がないか、先輩に頼らずに自分で探してみることにした。

まず、J-PlatPat の「特許・実用新案検索」を用いて、国内の特許（「詳細設定」：特許(特開・特表(A)、再公表(A1)、特公・特許(B))を対象に、検索項目として「全文」を選択して、「ロボット」と「二足歩行」の**双方とも**が記載された公報を検索してみることにした。この時、「表記のゆれ」が考えられるため、「2足歩行」と「二足歩行」のいずれかのワードが記載されていれば検索されるように下記の検索を行った結果、約 2 0 0 0 件もの国内特許があることがわかった。

【J-PlatPat 検索結果画面】

The screenshot shows the J-PlatPat search interface with the following details:

- 検索キーワード** (Search Keywords):
- 検索項目 (Search Item): 全文 (Full Text)
- キーワード (Keyword): ロボット (Robot)
- AND
- 検索項目 (Search Item): 全文 (Full Text)
- キーワード (Keyword): 2足歩行 二足歩行 (2-legged walking bipedal walking)
- AND
- 検索項目 (Search Item): 発明・考案の名称/タイトル (Invention/Proposal Name/Title)
- キーワード (Keyword): 例) 半導体記憶装置 (Example) Semiconductor memory device)
- AND
- 検索項目 (Search Item): 要約/抄録 (Abstract/Summary)
- キーワード (Keyword): 例) 組成物 (Example) Composition)
- 除外キーワード (Exclusion Keyword): 検索から除外するキーワードを指定します。 (Specify keywords to exclude from the search.)
- 検索オプション (Search Options): オプション指定: なし (Option specification: none)
- Buttons: 検索 (Search), クリア (Clear), 条件を論理式に展開 (Expand conditions to logical formula)

※検索日：2018年8月3日

※検索キーワードの入力エリアは、デフォルト画面で四つ表示されるが、入力エリアの下にある「追加」ボタンで入力エリアを追加することもできる。

- (5) 上記検索では件数が多すぎて内容を確認できないため、さらに全文キーワードで「クローラ」、「キャタピラ」、「無限軌道」のうちいずれかのワードが記載されているもの限定して件数を絞り込むことにした。

この検索を実行し、ヒットした件数を十の位を四捨五入して記入しなさい。

Aさんは、ヒットした公報を数件読んでみたが、なぜか自分が思いついた技術、つまり、「歩行とクローラによる走行の切り替えが可能な二足歩行型ロボット」とは関係なさそうなものばかりであった。

ヒットした公報の内容を確認するためには「検索結果一覧」にて文献番号をクリックするとその公報を表示することができる。また、この時、検索に使用したキーワードはハイライトされる。

【J-platPat 公報表示画面】

特開2018-120253

文献表示画面の表示形式： テキスト表示 PDF表示
一次文献 | [PAJ](#)

検索キーワードのハイライトされている文字列： 多色 単色

ロボット 二足歩行 2足歩行 クローラ キヤタピラ ...

書誌 閉じる

(19)【発行国】 日本国特許庁(JP)
(12)【公報種別】 公開特許公報(A)
(11)【公開番号】 特開2018-120253(P2018-120253A)
(43)【公開日】 平成30年8月2日(2018.8.2)
(54)【発明の名称】 **ロボット**装置及び**ロボット**装置の移動制御方法
(51)【国際特許分類】
G 0 5 D 1 / 0 2 (2006.01)
B 2 5 J 1 9 / 0 6 (2006.01)
【F I】
G 0 5 D 1 / 0 2 S

代表図面 | 1 | 2

第1の空間情報記録
第1の空間情報
点検計画に基づき移動指令又はア
入力
ロボット本体

(6) 上記(5)の検索でヒットした公報のうち、特開 2018-034239 の内容を確認し、本件がヒットした理由として最も適切なものを、次の選択肢の中から1つ選び、解答しなさい。

選択肢：

- Aさんと同じ発明であるため。
- 別の形状のロボットの発明であるが、背景技術としてクローラ式ロボットと二足歩行ロボットが記載されているため。
- 作業を行うための災害対応ロボットの発明であるため。
- ペットロボットの発明であるため。
- センサー等のロボット部品の発明であるが、実施形態の一例として二足歩行や無限軌道が記載されているため。

(7) Aさんは新たに思いついた技術に関する公報を効率的に見つけるため、特許分類(FI)を用いて検索することにした。

本発明のポイントが「ロボットにクローラを装着する点」であるとして、キーワードに代えてFIを用いて検索する場合、上記(4)で調べたFIのうち、検索に利用するFIとして最も適切なものを、次の選択肢の中から1つ選び、解答しなさい。

選択肢：

- a. B25J 5/00 A
- b. B25J 5/00 B
- c. B25J 5/00 E
- d. B25J 5/00 F

(8) J-PlatPatの「特許・実用新案検索」を用いて、調査対象を国内の特許(「詳細設定」：特許(特開・特表(A)、再公表(A1)、特公・特許(B)))のみとして、上記(7)で選択したFIが付与され、かつ「全文」(検索項目)に「二足歩行」又は「2足歩行」のいずれかのワードを含む公報を検索し、ヒットした件数を記入しなさい。

※「B25J 5/00 A」を入力する場合、「B25J5/00@A」というように、半角の@を付ける必要があります。

(9) 上記(8)の検索結果の中から、以下に記載の4件の公報を見つけた。

以下の選択肢の中から、Aさんが新たに思いついた技術が全て記載された公報と段落番号の組み合わせを1つ選び、解答しなさい。

選択肢：

- a. 特開 2016-155216 【0023】～【0028】
- b. 特開 2008-023638 【0003】～【0004】
- c. 特開 2004-223712 【0029】～【0031】
- d. 特開 2004-058166 【0010】～【0015】

【問3】のねらい

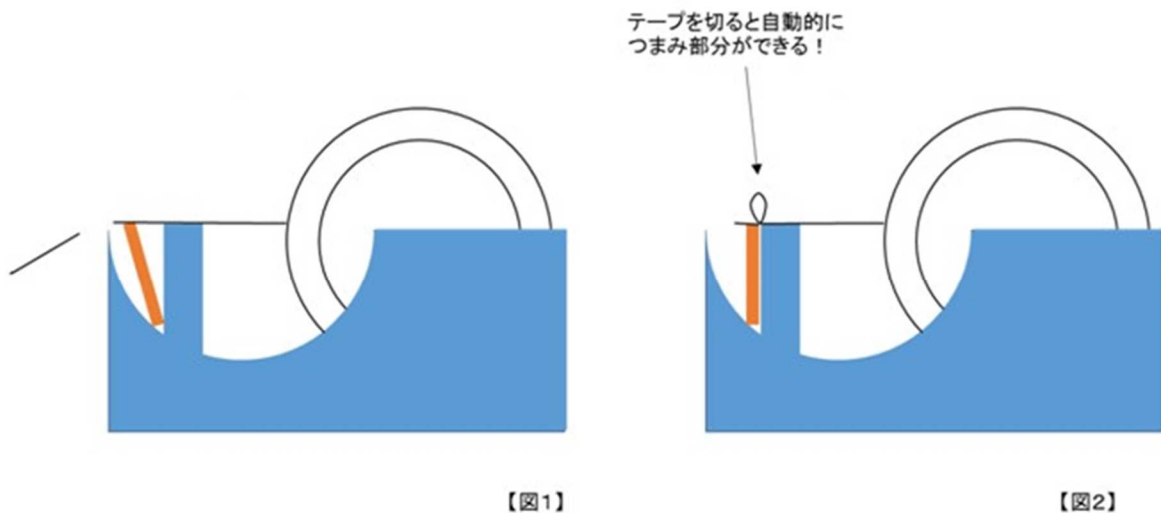
同じ発明が先に出题されていないかどうかを調べる（先行技術調査）方法を学び、J-PlatPat を利用して実際に検索してみる。

【J-PlatPat の URL】 <https://www.j-platpat.inpit.go.jp/>

【問3】

紙工作が好きな C 君は、愛用の卓上型のテープカッターを机において、いつも工作をしています。ただ、最近工作をしていて、悩んでいることがあります。

複雑な形状の紙工作は、小さく切ったテープをいくつも使う必要がありますが、テープカッターからテープを引き出し、切るという作業の繰り返しは少し面倒です。また、テープを引き出すときに粘着面に手が触れて、汚くなってしまったテープで紙工作を作ると、きれいな仕上がりになりません。何か良い方法はないかと、インターネットで調べてみると、なんと！テープの先端につまみ部分を自動的に作ってくれる魔法のようなテープカッターが発売されているのを発見！これは便利だ！と思い、早速購入し使ってみることにしました。

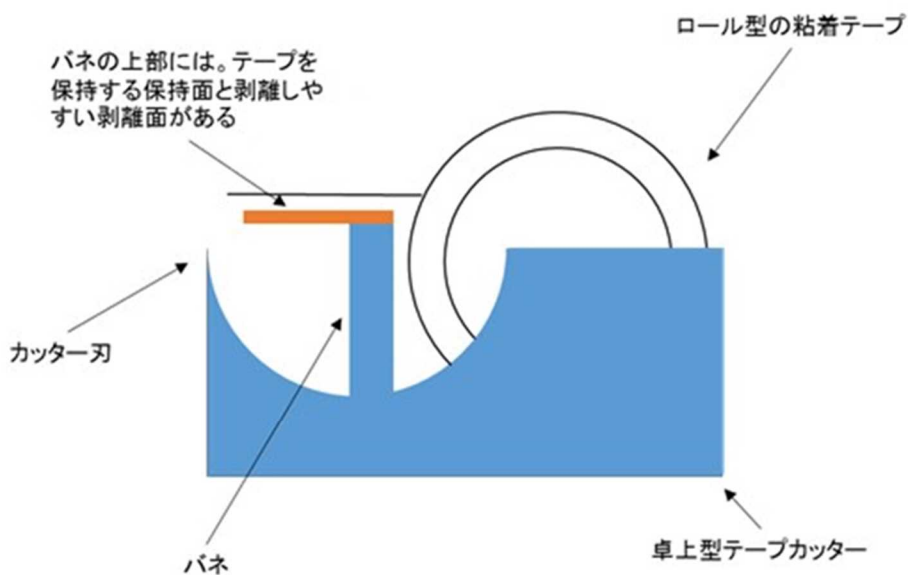


ところが、つまみ部分を作ってくれることで、次にテープを引き出すときにテープが汚れず、非常に便利なのは分かったのですが、工作でこれを使うには、そもそもつまみ部分が不要で、これがあるために仕上がりがよくありません。また、テープロールとカッター刃のテープの粘着部分が常に空気に触れているため、次に使う時、最初のテープはきれいに貼れないという問題があります。

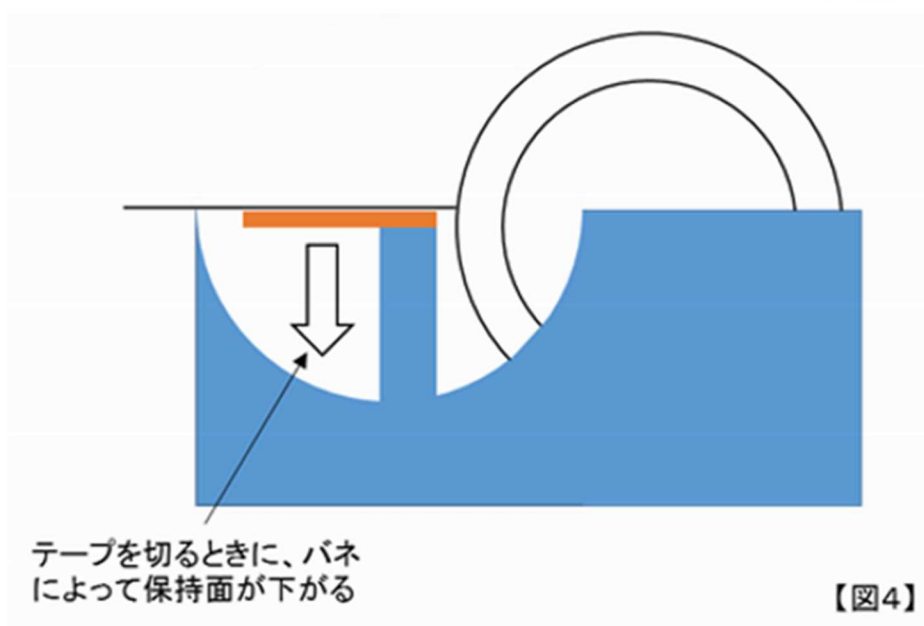
折角購入した魔法のテープカッターを眺めながら、あれこれ悩んでいるうちに、自分の求めているテープカッターは、テープを切った時に、なんらかの手段でカッター刃からテープを離して保持してくれば、それで良いことに気がきます。更に、テープロールとカッター刃の間に何か工夫をすれば、自分の悩みは解決できるのではないかと思いつき、自分の求めるテープカッターを自作することにしました。

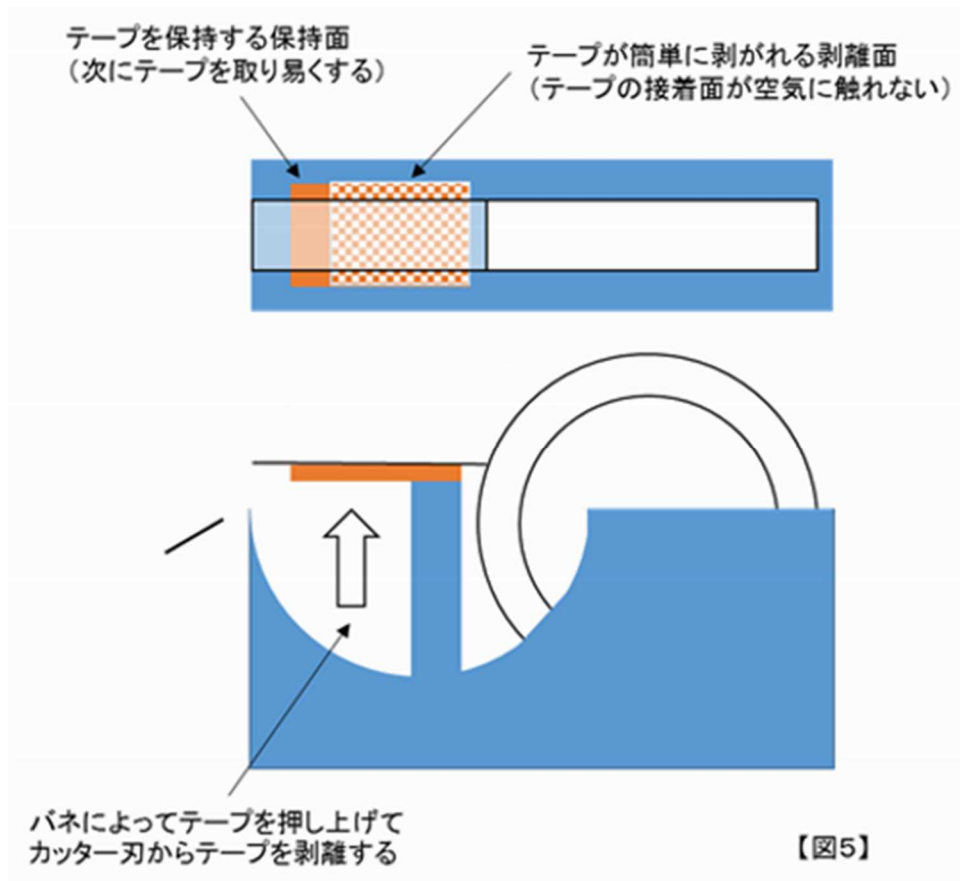
試行錯誤を繰り返し、ようやく思い通りのテープカッターが完成。C君のアイデアを発明としてまとめると次のようになります。

- a. ロール型の粘着テープを装着するテープ装着部とカッター刃を有する卓上型のテープカッター。
- b. テープ装着部とカッター刃の間に、バネによってカッター刃とテープを剥離させる手段を設けて、カッター刃でテープを切ったら、バネがテープを押し上げてカッター刃からテープを剥離できる。
- c. bの手段には、カッター刃から剥離させたテープを保持させる保持面があり、テープの端部を保持できるので、次にテープを取り出しやすくできる。
- d. 更にbの手段には、cの保持面とテープ装着部間のテープの接着面を空気に触れさせず、かつ次に取り出す際にテープが簡単に剥がれる剥離面もあり、これによって、これまでテープ装着部とカッター刃の間の空気に触れていたテープのほとんどの接着面は空気に触れることなく、接着力が弱くなることはない。



【図3】





C君は、この発明（以下、「本発明」という。）が他者によって先に特許出願されていないかを調べたいと思いました。

特許文献の調査においては、適切な特許分類を用いることによって、調べたい技術分野に対応した関連性の高いヒット文献集合を得ることができます。

テープカッターのように薄板状の粘着テープを取り扱う機構に関する技術は、「B65H」が割り振られ、薄板状のテープを送り出す機構に関する技術は、「B65H 35/00」が設定されています。特にC君のテープカッターの発明は、粘着テープを送り出す装置となるため、その下位層の分類である「B65H 35/07」の「粘着テープ繰出し装置」に分類されます。

「B65H 35/07」は、分冊識別記号（A～Zの記号）によって、特徴構成毎に更に階層に細分されており、C君のテープカッターの発明は、「卓上型のテープカッター」であり、カッター刃の近くにテープ端を保持する機構が存在していることから、「B65H 35/07K」の「卓上・設置固定型」のさらに下位分類である「B65H 35/07N」の「刃の前後にテープ端受けのあるもの」に分類されています。

下記は FI のごく一部を抜粋したものです。これら以外にも同階層の分類や、更にドット数の多い下位階層の分類も存在します。(詳細は、J-PlatPat の「特許・実用新案」→「特許・実用新案分類照会 (PMGS)」で調べることができます。)

[F I 一部抜粋]

B65H	薄板状または線条材料
B65H 35/00	切断またはミシン孔搾孔機からの物品の排送
B65H 35/04	・ 横方向の切断機または穿孔機からのものまたはそれらをもつもの
B65H 35/06	・ ・ 刃、押切刃、切断刃または搾孔刃をもつもの
B65H 35/07	・ ・ ・ 粘着テープ繰出し装置
~	
B65H 35/07K	卓上・設置固定型
~	
B65H 35/07N	・ 刃の前後にテープ端受けのあるもの

調査には、J-PlatPat の「特許・実用新案検索」を用いて、以下の問いに答えなさい。

(1) 調査を開始するにあたり、まず発明を整理する必要がある。

次の選択肢の中から、本発明の必須の要件として適切とはいえないものを2つ選び、解答しなさい。

選択肢：

- a. テープカッター
- b. カッター刃
- c. テープ
- d. 机
- e. バネ
- f. 保持面
- g. 剥離面

- (2) 自分の考えた発明が、他人によって既に特許出願されていないかどうかを調べるためには、検索式を作成して、多くの特許文献の中から発明に関連する技術が記載されたものを探し出す必要がある。一般に検索式は分類で技術分類を指定した上で、分類の定義に含まれない概念のキーワードを掛け算 (AND) する形で作成される。

J-PlatPat の「特許・実用新案検索」を用いて、本発明の FI とキーワードを用いて検索するとき、下記検索式の①、②及び③に入力すべきキーワードを、次の選択肢の中からそれぞれ1つずつ (計3つ) 選び、解答しなさい。

なお、指定した FI の「B65H 35/07K」には「卓上・設置固定型」という概念が含まれており、また、「B65H 35/07K」の上位の階層にあたる「B65H 35/06」には、「刃をもつもの」という概念が含まれている。つまり、指定する「B65H 35/07K」には、「刃をもつもの」でかつ「卓上・設置固定型」という概念が既に含まれていることに注意すること。また、選択肢のキーワードには、考慮したほうが良いと考えられる同義語・類義語・異表記を含んでいる。

【J-PlatPat 特許・実用新案検索画面】

※キーワードの入力エリアに FI を入力するときには、検索項目はプルダウンで「FI」を選択し、キーワードを入力するときには「全文」を選択すること。また、検索キーワードの入力エリアは、デフォルト画面で四つ表示されるが、入力エリアの下にある「追加」ボタンで入力エリアを追加することができる。

選択肢：

- a. バネ ばね 弾性
- b. 刃、カッター
- c. 剥離 剥がれ 非接着 非粘着
- d. 保持 支持 仮止 係止
- e. 卓上テープカッター テープ台
- f. テープ テープロール

- (3) 調査対象を、国内の特許(「詳細設定」: 特許(特開・特表(A)、再公表(A1)、特公・特許(B)))のみとして、上記(2)で答えた検索式を実行し、ヒットした件数を十の位を四捨五入して記入しなさい。

なお、画面上テキスト検索対象の「和文」のラジオボタンがオンになっていること、「詳細設定」の「文献種別」の「外国文献」及び「非特許文献」、「J-GLOBAL」にチェックが入っていないこと、画面下「検索オプション」の「登録日ありで絞り込む」にチェックが入っていないことを確認すること。

- (4) 上記(3)の検索結果やその後の精読等により、本発明に関連する以下の5つの文献を発見した。

本発明に最も近い技術が記載されている特許文献を1つ選ぶとともに、本発明の構成を最もよく説明している段落番号(【 】内の番号)が記載された組み合わせをそれぞれ選び、解答しなさい。
 なお、特許公報の技術内容を確認するときには、予め配付されている特許公報(PDF)を用いることも可能である。

特許文献の選択肢	段落番号の選択肢
a. 特開2014-009092	1. 【0008】、【0057】、【0058】
	2. 【0057】、【0058】、【0059】
	3. 【0058】、【0059】、【0062】
b. 特開2014-015336	4. 【0009】、【0012】、【0016】
	5. 【0012】、【0016】、【0024】
	6. 【0016】、【0024】、【0038】
c. 特開2014-028666	7. 【0004】、【0008】、【0017】
	8. 【0004】、【0017】、【0023】
	9. 【0017】、【0023】、【0038】
d. 特開2017-081751	10. 【0003】、【0007】、【0010】
	11. 【0007】、【0017】、【0019】
	12. 【0010】、【0017】、【0019】
e. 特開2017-171493	13. 【0004】、【0006】、【0008】
	14. 【0004】、【0006】、【0018】
	15. 【0008】、【0016】、【0018】

特許検索競技大会2018 スチューデントコース

No. _____

--

◆解答用紙◆ *解答欄に記入または○を付けてください。

氏名 _____

【問1】

(1)	1.	登録第	号	(7桁の数字で記入)		
	2.	登録第	号			
(2)		a.	b.	c.	d.	(2つ選択)
(3)	ア.		年	月	日	
	イ.	a.	b.	c.		
	ウ.		年	月	日	
	エ.		年	月	日	

【問2】

(1)		年	月	日				
(2)		a.	b.	c.	d.	e.	(2つ選択)	
(3)		a.	b.	c.	d.	e.		
(4)	1.	a.	b.	c.	d.	e.	f.	g.
	2.	a.	b.	c.	d.	e.	f.	g.
	3.	a.	b.	c.	d.	e.	f.	g.
	4.	a.	b.	c.	d.	e.	f.	g.
(5)		件					(十の位を四捨五入すること)	
(6)		a.	b.	c.	d.	e.		
(7)		a.	b.	c.	d.			
(8)		件						
(9)		a.	b.	c.	d.			

【問3】

(1)		a.	b.	c.	d.	e.	f.	g.	(2つ選択)							
(2)	①	a.	b.	c.	d.	e.	f.									
	②	a.	b.	c.	d.	e.	f.									
	③	a.	b.	c.	d.	e.	f.									
(3)		件							(十の位を四捨五入すること)							
(4)	特許文献	a.	b.	c.	d.	e.										
	段落番号	1.	2.	3.	4.	5.	6.	7.	8.	9.	10.	11.	12.	13.	14.	15.